

ステークホルダーとともに 地域社会の更なる発展に寄与するSBIグループ



高橋 聡 氏

株式会社トランビ
代表取締役社長

全国の後継者問題の解決を目指す

ベンチャー企業

事業の売り手と買い手をWebサイト上でマッチングするという当社のビジネスを考えただけは、私自身の経験でした。家業を継ぐため長野に戻って直面したのが、地方の中小企業の厳しい現実。とくに、後継者がいないために廃業する会社が想像以上に多いことに驚きました。既存のM&A仲介会社は規模の大きな案件を優先的に扱い、中小企業の助けにはなってくれませんでした。そんな状況に問題を感じ、2011年にサイトを開設したのが始まりでした。

SBIグループから出資を受けたのは、この事業を本格的に広げようと東京にオフィスを構えて少し経った2018年6月です。非常に助かっているのは、資金面での支援以外にも、我々の事業の成長に繋がる金融関連のネットワークやノウハウなども惜しみなく提供して下さること。出資から1年で100行以上の金融機関との提携が実現したほか、SBIが出資する他のベンチャー企業の紹介により技術面での強化を図ることができました。中小企業の事業承継(参照:P.63用語集)が大きな社会課題だという共通認識もあり、更なる事業拡大に向け、心強いパートナーを得たと感じています。



宮成 昇 氏

山口フィナンシャルグループより出向
SBIインベストメント 投資部

SBIグループでの経験を出向後の仕事に活かしたい

地域金融機関

山口フィナンシャルグループ(YMFG)は近年、様々な企業への社員の一時出向を推進しており、私も2018年8月からSBIグループに出向しています。出向の目的の一つは、異なる組織の企業風土を学びYMFGの改革に活かすこと、もう一つは新たに得た知識や経験を自分のスキルアップに活かすことです。

出向以来、SBIインベストメントにてベンチャー企業への新規投資と既存の投資先の経営支援の双方に携わっています。この間に感じたSBIインベストメントの強みは、様々な業界に関するスペシャリストを擁するとともに、国内外に幅広いネットワークを持っていること、そして将来を見据えて、革新的な事業を展開する企業に積極的に投資していることです。出向からしばらくは上司に同行しての活動が主でしたが、今では一人で動くことが増え、様々な経営者にお会いして最先端の技術を知る、刺激的かつ学ぶことの多い日々を送っています。YMFGでも地域の活性化に結びつく企業への投資に力を入れ始めています。お客さまにご満足いただけるような圧倒的な提案力を身につけ、出向後の仕事に活かすつもりです。



木村 美礼

SBI FinTech Incubation
代表取締役

地域金融機関とフィンテックベンチャーの オープン・イノベーションに向けて

グループ内企業

当社はSBIグループが従前より培ってきたフィンテック領域の知見や導入事例を活かし、地域金融機関における新たなフィンテックサービスの導入を支援するべく、2017年2月に設立されました。

2017年5月の銀行法改正ではAPIの公開が努力義務になるなど、現在、各金融機関はオープン・イノベーションに向けた対応を迫られています。そうしたなか、当社ではオープンAPI基盤を含む「フィンテックプラットフォーム」の構築・普及を推進しています。国内外のフィンテックベンチャーが提供する多様なサービスと各金融機関のシステムを結びつけるこのプラットフォームを導入することで、各金融機関はスマートフォンを使った顧客サービスなどをより低コストかつ迅速に導入することが可能になります。オープンAPIの真の目的は、社外との連携強化によるオープン・イノベーションを金融機関に促すことにあり、フィンテックプラットフォームを導入することで顧客にどんな付加価値が提供できるか、各金融機関の目線でメリットを考え、必要により我々自身が新サービスを開発して普及に取り組んでいます。